



◆二月生まれの人

十四日 清原健太郎
 十八日 中村 和幸
 二十一日 山下 健二
 二十五日 東 正則

◆三月生まれの人

七日 島田 崇司
 二十七日 吉田 張美

建設部 清原健太郎

30代最後の年となりますが、有意義な年にしたいと思います。

総務部 東正則

公私共に健康管理・安全管理をしっかり行つて、毎日が笑顔でいられるように心がけます。

住宅事業部 島田崇司

毎日新しい事、知らない事を学び、自分の成長を促す一年としたいです。

2月27日に結婚式を挙げられました。末永くお幸せになってください。

住宅事業部

竹迫勇太郎・由希さん



新入社員

鎌田建設

住宅事業部

永元勇輝氏

(なかもとゆうき)



鍵山秀三郎先生語録より

【相対差の世界】

相対差の世界で生きておられますと、結果だけを追い求めるようになります。
 途中を省き、結果だけを急ぎますと、事業そのものに誠意がなくなってしまうです。

一言一格



二月度・三月度のきれい大作戦

2月度の綺麗な大作戦は、明け方からの雨のため順延しましたが、予備日に設定していた日も雨に祟られてやむなく中止にしました。3月度の綺麗な大作戦も当初予報で、再び延期が心配されましたが、雨がずれこみ当日は良い天気のもとで3月19日に実施することができました。国道10号線沿いの水路にミズゴケがだいぶ繁殖してきたので、きれいに除去しました。敷根の山肌にも点々と鮮やかに咲く山桜も終わりがけ、いよいよ春を感じさせました。同時に綺麗な大作戦も草との格闘を余儀なくされそうです。



編集後記

よく耳にすることわざに、『石の上にも三年』とか『雨垂れ石を穿つ』がある。つらくても辛抱して続ければ、いつかは成し遂げられるということ。どんなに小さな力でも根気よく続ければ、いつかは成果が得られるということの例えで、どちらも同じような意味ですが、時代の流れとともに考え方も変わり、これらのことわざもいつかは死語になってしまうのではと思う一人です。

今年度、我が社も4人の新入社員を迎えることが出来ました。それぞれが新しい職場での活躍を夢見たり、慣れない環境への不安など、複雑な気持ちで会社の門をくぐったことと思います。新入社員の皆さんが、一日も早く鎌田建設の社員として溶け込み、将来我社をリードしていく社員に成長できるよう、社員全体で支えてあげたいものです。

くしくも我社は創業50周年を迎えます。そんな節目の時に入社してくれた4人とともに、今年度の会社スローガン『活力集団』の形成に向かって、一致団結してまい進できたらと思います。

発行

鎌田建設株式会社
 〒899-4462
 鹿児島県霧島市国分敷根141
 TEL0995-46-3000
 FAX0995-46-3114

ホームページアドレス
<http://www.k-kamada.com/>

Eメール

info@k-kamada.com
 編集・発行 鎌田建設社報委員会
 発行責任者 鎌田善政
 発行日 平成28年4月
 (隔月発行)